

確認申請・中間検査・完了検査

手数料金額

手数料を徴収する区分			確認申請	中間検査	完了検査	
					中間検査を受けたもの	中間検査を受けていないもの
建築物に関する確認の申請	昇降機に係る部分が含まれない場合	30㎡以内のもの	10,000	20,000	20,000	23,000
		30㎡を超え、100㎡以内のもの	21,000	26,000	27,000	30,000
		100㎡を超え、200㎡以内のもの	37,000	33,000	38,000	40,000
		200㎡を超え、300㎡以内のもの	48,000	43,000	55,000	58,000
		300㎡を超え、1,000㎡以内のもの	79,000	62,000	91,000	94,000
		1,000㎡を超え、2,000㎡以内のもの	112,000	85,000	114,000	122,000
		2,000㎡を超え、10,000㎡以内のもの	315,000	175,000	178,000	194,000
		10,000㎡を超え、50,000㎡以内のもの	461,000	289,000	290,000	306,000
		50,000㎡を超えるもの	899,000	606,000	605,000	622,000
建築設備に関する確認の申請	小荷物専用昇降機以外の建築設備(エレベーター、エスカレーター等)		25,000	—	—	38,000
	小荷物専用昇降機		9,000	—	—	21,000
	小荷物専用昇降機以外の建築設備(エレベーター、エスカレーター等)	計画変更	11,000	—	—	—
	小荷物専用昇降機	計画変更	6,000	—	—	—
工作物に関する確認の申請	工作物		22,000	—	—	23,000
	工作物	計画変更	9,000	—	—	—

手数料の区分における床面積の算定方法について

区分		床面積の算定方法
確認申請 中間検査 完了検査	新築または増築	当該建築に係る部分の床面積
	移転、大規模の修繕、大規模の模様替え又は用途変更	当該移転、修繕、模様替え又は用途変更に係る部分の床面積の2分の1
確認申請 (計画変更)	新築または増築	当該建築に係る部分の床面積の合計の2分の1 (床面積を増加する場合にあっては、当該増加する床面積)
	移転、大規模の修繕、大規模の模様替え又は用途変更	当該計画の変更に係る部分の床面積の合計の2分の1

工作物(擁壁)の手数料に係る基数の算定方法について

区分	基数の算定方法	例
擁壁の高さが異なる場合	高さが異なる擁壁をそれぞれ1基として算定	H＝3m、4mなど構造計算が異なるもの(間知石の場合は、図集のタイプごとにそれぞれ1基として算定する。)
擁壁の構造種別及び構造形式が異なる場合	構造種別や構造形式ごとにそれぞれ1基として算定	間知石、L型擁壁(現場打ち)、L型擁壁(PC)、逆L型擁壁等、構造種別や構造形式が異なり、それぞれ別の構造計算を伴うもの。
基礎工法が異なる場合	異なる基礎工法ごとにそれぞれ1基として算定	直接基礎、杭基礎など基礎の構造計算が異なるもの。(地盤の許容応力度が異なる場合もそれぞれ1基として算定する。)